

建設業における雇用管理現状把握実態調査報告書の概要

1. 調査の概要

- 本調査は、今後の建設業における雇用改善施策の推進に資するため、雇用管理、福利厚生、就業環境、能力開発、今後の展望等に関するアンケート調査を行うもので、事業主を対象とする企業調査と技能労働者を対象とする従業員調査を行うもの。
- 調査票は、従業員数が2名以上の企業 15,000 社に送付し、企業調査は 4,449 社、従業員調査は 2,502 名の有効回答があった。

2. 調査事項

調査事項は以下のとおり。

なお、企業調査の A～H、従業員調査の A～F は「基礎調査」として毎年同一の項目で実施しており、企業調査の I・J、従業員調査の G・H は「特別調査」として毎年項目を変えて実施している。

(1) 企業調査

- A 企業の属性に関する事項
- B 基礎的な雇用管理に関する事項
- C 常用の技能労働者の雇用環境・福利厚生に関する事項
- D 常用の技能労働者に対する職業能力開発・熟練技能継承に関する事項
- E 常用の若年（34 歳以下）技能労働者の雇用状況に関する事項
- F 常用の高齢（65 歳以上）技能労働者の雇用状況に関する事項
- G 常用の女性技能労働者の雇用状況・雇用環境に関する事項
- H 業務のデジタル化に関する事項
- I 将来の建設業を支える担い手の確保に関する事項
- J 建設キャリアアップシステムに関する事項

(2) 従業員調査

- A 個人の属性に関する事項
- B 労働環境・福利厚生に関する事項
- C 建設業への入職、建設業の魅力に関する事項
- D 技能の習得に関する事項
- E 女性技能労働者に関する事項
- F 今後の展望に関する事項
- G 将来の建設業を支える担い手の確保に関する事項
- H 建設キャリアアップシステムに関する事項

3. 調査結果のまとめ

(1) 常用の若年技能労働者の確保・定着に関する現状

【ポイント】

- 建設技能労働者に占める高年層の割合は全体では3割強となっており、従業員規模が小さいほど割合が高くなっている。
- 従業員規模が大きいほど若年技能労働者の不足感が強い。
- 若年技能労働者の採用状況について、「採用できていない」が最も高く、全体の約7割を占めている。なお、令和5年度調査との比較では、「採用したいと考えていない」がやや高くなっている。
- 若年技能労働者の定着状況について、従業員規模が大きいほど定着している割合が高い。一方で、従業員規模が小さいほど、若年技能労働者がそもそも在籍していないとする割合が高い。

(2) 建設技能労働者が置かれる雇用環境の現状

【ポイント】

- 建設技能労働者が現在従事している仕事や職場に関して重視していることは、全年齢層では「仕事の内容」が最も高いが、若年層においては「雇用が安定していること」や「職場の人間関係の良さ」が高くなっている。
- 建設技能労働者が現在従事している仕事や職場に関して満足していることは、全年齢層、若年層を問わず、「雇用が安定していること」が最も高い。
- 就業環境は、月給制の導入状況、週休2日制の導入状況、福利厚生、能力開発の状況など、従業員規模が大きいほど取組が進んでいる傾向にあるが、従業員数29人以下では大きな差がみられない場合も多い。また、若年技能労働者が定着している企業は、定着していない企業よりも取組が進んでいる割合が高い。

(3) 将来の建設業を支える担い手の確保に関する現状

本年度の調査では、令和8年度からの次期建設雇用改善計画の策定に資するため、特別調査として『将来の建設業を支える担い手の確保に関する事項』を盛り込んだ。

【ポイント】

- 担い手の確保を阻害すると考えられる要因は、雇用条件よりも現場の環境に関する項目の方が割合が高い傾向があり、企業や従業員、業種、請負形態による大きな差はみられない。
- 担い手の確保に向けて必要な国の取組は、「若年者等の入職・定着促進」が最も高く、企業・従業員ともに6割以上となっている。
- 若年者等の入職・定着を促進するために必要な国の取組は、「若年労働者の確保・育成」が企業・従業員とも約8割と最も高く、他の選択肢（女性労働者の活躍・定着の促進、高年齢労働者の活躍の促進、ハローワークにおける支援）はいずれも3割程度で大きな差は見られない。
- 魅力ある労働環境づくりに向けた基盤整備のために必要な国の取組は、「賃金の改善」が企業・従業員とも6割強で最も割合が高い。「働き方改革の推進」は規模が小さい企業ほど極端に低い傾向があり、「働き方改革の推進」の前に「安定就労の確保」や「賃金の改善」を求めていることがみてとれる。
- 職業能力開発の促進、技能継承のために必要な国の取組は、「デジタル人材の育成」が1割強と低いことを除いて各取組の割合に大きな差はない。